

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
梅雨が一瞬で終わってしまい、暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1. オーガニックの森づくり講座報告

■ 1 ■ オーガニックの森づくり講座報告

今年度もはじまりました、農水省補助事業（オーガニック産地育成事業）。
第1回目は、6月28日にオーガニックの森づくり講座を開催しました。講師の小
祝政明さんに、有機農業と森の関係やBLOFの森づくりのお話をおききました。

森の木々は大地に深く根を下ろし、豊かな土の層が水をしっかり保持します。そ
して、森に降り注いだ雨は濾過されて、川から海に流れていきます。森が失われ
ると、雨が大地を削って表層土壌が流出してしまいます。

森の中では落ち葉や枯れ枝が腐食して酸をつくり、大地のミネラルを溶かして、
いのちをつなぐのに必要なミネラルを含んだ水を供給しています。そして、有機
農業を拓げるためには膨大な量の有機堆肥が必要ですが、落ち葉やいらなくなっ
た枝は優良な堆肥になります。豊かな森は、光合成に必要な水を供給する水源で
あり、堆肥の供給源であり、ミネラルは農作物に再吸収される一木は生命の初源
のエネルギーだったのです。

そんな森をしっかりと守り育てることとは有機農業を行う上で不可欠・不可分で
す。これまで、収量を増やすには田畑の面積を広げることが必要でしたが、BLOF
理論に基づいた高栄養・多収穫の農業では、単位面積あたりの収量が何倍にもな
るため、少ない面積での収量増を可能にします。つまり、国土の狭い日本でも山
を増やすことができるということです。そうすればCO2削減、異常気象の緩和に

もつながります。植物の持つ力を最大限に活かす BLOF 理論は、田畑だけでなく森の木々を育てることにも使える理論だということもお話いただきました。

小祝さんは、

1. オーガニックきのこと栽培
2. 廃菌床を原料としたオリゴ糖堆肥
3. 高栄養価の BLOF 有機農産物
4. BLOF 有機野菜で予防医学を支援
5. BLOF 栽培技術で豊かな森づくりを支援
6. ドングリのなる豊かな森づくり

の循環を構想しておられるそうです。この循環に市民も参加することが大切です。家庭菜園からでも、1本の植樹からでもいい。食料生産や環境保全を人任せにせず、みんなで取り組む。奈良でも、森づくりまで視野に入れた有機農業を目指していきたいです。

さて、次回第2回は、BLOF 理論の基礎講座です。今回の講座では説明を割愛した「BLOF 理論とは？」という部分をしっかりお話いただきますので、ぜひご参加ください。

BLOF 理論の基礎講座

講師：大林和弘さん

日時：7月12日(火)13:00～16:00

場所：コープ自然派奈良事務所 & オンライン ※講師オンライン

申込・問合せ

コープ自然派奈良 メール eventnara@shizenha.co.jp

農民連・奈良産直センター TEL：0744-54-2966 / FAX：0744-54-2967

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：https://www.facebook.com/oishiikyusyoku

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）
